

令和3年8月31日（火）書面開催

報告事項

- 1 地域包括支援センター人員体制
- 2 地域包括支援センター実績報告
- 3 帯広市地域ケア会議について
- 4 地域包括支援センター事業評価について

(質問・ご意見)

- ・報告事項2、報告事項3について

コロナ禍の状況において様々な課題や相談に向き合っている各地域包括支援センターの活動に感謝しております。

- ・報告事項4

P11 事業評価スケジュールの翌年度 R4年度（R3年度分）評価について

「市により行政評価」がありませんが、国の評価のみになるのでしょうか。

- ▶ (回答) これまで国と市独自の評価を実施して参りましたが、国と市で重複する評価指標が多く、センターの負担となっていることや、具体的な取り組み内容が評価に反映されにくい、という課題があります。そこで、R4年度からは国の評価と併せて、事前にヒアリングした具体的な取り組みや事例等の内容から市の評価をすることとしています。国の評価結果と併せて評価していくことから、取り組み時期としては、1月に移行し実施予定としています。

協議事項

地域包括支援センターの職員配置について

委員8名全員承認

全体を通じた意見

- ・ コロナ禍で地域包括支援センターとしての本来の活動がいろいろと制限されていることと思われます。地域の中でのニーズを把握することが非常に難しい状況ですが、地域住民の暮らしを引き続き支援いただきますようお願いいたします。
- ・ 4地域包括支援センターとも、コロナ禍の中、多数の相談に対応し、特に対応困難事例は前年を上回っていて、地域の相談拠点、支援拠点となっている。少ないスタッフの中での活躍に敬意を表します。
- ・ コロナ禍でも頑張っているようで、今後も宜しく願います。